

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 田中 悠茉

2018年2月27日～3月18日までの約20日、オーストラリアのケアンズに滞在しました。最初の1週間は旅行のような感じで観光やアクティビティなどケアンズでの生活を満喫しました。



## 1. 語学学校について

SPCという語学留学学校へ通いました。留学だから学校にいるのはみんな現地の学生かと思いきや、アジア人だらけで驚きました。しかし、日本人の学生と話す時もずっと英語で会話をしました。語学学校の授業は全て英語なので、大学の授業では体験出来ないような経験をすることができました。tellとsayの使い分けの仕方や時制の一致、助動詞の使い方などどれも中学高校時代に習ったものばかりでしたが良い復習になったかなと思います。そして気づいたことが1つあります。ネイティブスピーカーの方たちは、英語を感覚で使い分けしている感じがありました。この単語よりこの単語の方がこういう場面ではよく使うよね、などと特にこれといった決まりもなく、彼らの感覚で使いわけを行っているように感じました。それを日本人にでもわかるようにまとめてくれたのが、英語の文法なのだなと思いました。

英語の聞き方や話し方を学ぶなら本場の方がいいですが、英語そのものを学ぶのなら日本の方がいいかもしれないと私は思いました。語学学校では全て英語で授業が行われるわけですから、英語を聞けるようにならないとついていけません。必死に聞こうと努力をしていたら、少しずつ聞きとれるようになってきました。語学学校の先生はみんないい人達ばかりで、何も知らない私に色々と教えてくれました。短い期間でしたが、とても楽しかったです。一生の思い出です。

## 2. ホームステイについて

ホームステイでは現地の暮らしをリアルに体験することが出来ました。英語が分からない私の話をゆっくりと聞いてくれるような、優しいホストファミリーでした。日本とオーストラリアの暮らしや考え方の違いなど、色々な話をしました。留学を経て、英語というものにますます興味が湧いてきました。これからも積極的に海外に行きたいと強く思いました。

## 3. 最後に

やはり日本は、恵まれているし良い国だなと思いました。ただ、オーストラリアの方達は何をするにしても楽しそうでした。刺激が無いなら刺激があるような毎日にすればいい。ホストファザーが教えてくれました。この言葉を胸にこれからも頑張っていこうと思います。

